

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第2区分

【発行日】平成24年5月10日(2012.5.10)

【公開番号】特開2011-233590(P2011-233590A)

【公開日】平成23年11月17日(2011.11.17)

【年通号数】公開・登録公報2011-046

【出願番号】特願2010-100208(P2010-100208)

【国際特許分類】

H 01 L 33/00 (2010.01)

B 41 J 2/44 (2006.01)

B 41 J 2/45 (2006.01)

B 41 J 2/455 (2006.01)

H 04 N 1/036 (2006.01)

G 03 G 15/04 (2006.01)

【F I】

H 01 L 33/00 J

B 41 J 3/21 L

H 04 N 1/036 A

G 03 G 15/04 1 1 1

【手続補正書】

【提出日】平成24年3月21日(2012.3.21)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0017】

プロセスユニット10-1~10-4の各感光体ドラム11に対向する位置には、それぞれ半導電性のゴム等によって形成された転写ローラ27が配設されている。各転写ローラ27には、感光体ドラム11上に付着されたトナーによる顕像を用紙20に転写する転写時に、各感光体ドラム11の表面電位とこれら各転写ローラ27の表面電位に電位差を持たせるための電圧が印加されている。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0159

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0159】

図21-1(c)は、前記発光サイリスタ210-1のターンオン過程を説明する図であって、横軸にアノード電流Ia、縦軸にアノード電圧Vaが示されている。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0201

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0201】

図23-1(c)は、前記発光サイリスタ210-1のターンオン過程を説明する図であって、横軸にアノード電流Ia、縦軸にアノード電圧Vaが示されている。

【手続補正4】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項8】

複数の3端子発光素子と、各々、電源と接続される第1端子と、前記第1端子との間に駆動電流を流すための第2端子と、前記第1端子及び前記第2端子間の導通状態を制御する制御端子と、を有し、前記第1端子同士が共通接続された複数の3端子発光素子が、複数の組に分けられ、前記各組における前記複数の3端子発光素子を前記各組毎に時分割に駆動する駆動装置と、を備えたプリントヘッドであって、

前記駆動装置は、

前記各3端子発光素子の前記第2端子に対して前記駆動電流をそれぞれ供給する複数の駆動回路と、

前記各組における前記複数の3端子発光素子の前記制御端子を共通接続する共通配線と、

各々、前記共通配線に接続される第3端子と前記各3端子発光素子の前記制御端子に接続される第4端子とを有し、前記第3端子又は前記第4端子にそれぞれ入力される信号のレベルをシフトして前記第4端子又は前記第3端子からそれぞれ出力する複数の分離回路と、

を有することを特徴とするプリントヘッド。

【手続補正5】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項9】

複数の3端子発光素子と、各々、電源と接続される第1端子と、前記第1端子との間に駆動電流を流すための第2端子と、前記第1端子及び前記第2端子間の導通状態を制御する制御端子と、を有し、前記第1端子同士が共通接続された複数の3端子発光素子が、複数の組に分けられ、前記各組における前記複数の3端子発光素子を前記各組毎に時分割に駆動する駆動装置と、を有するプリントヘッドを備え、前記プリントヘッドにより露光されて記録媒体に画像を形成する画像形成装置であって、

前記駆動装置は、

前記各3端子発光素子の前記第2端子に対して前記駆動電流をそれぞれ供給する複数の駆動回路と、

前記各組における前記複数の3端子発光素子の前記制御端子を共通接続する共通配線と、

各々、前記共通配線に接続される第3端子と前記各3端子発光素子の前記制御端子に接続される第4端子とを有し、前記第3端子又は前記第4端子にそれぞれ入力される信号のレベルをシフトして前記第4端子又は前記第3端子からそれぞれ出力する複数の分離回路と、を有することを特徴とする画像形成装置。